

令和5年度の森林環境譲与税に関する決算状況一覧

事業区分	事業名	事業総額（円）		事業内容	実績	税導入の効果	
			うち当該年度の森林環境譲与税（円）				うち他の財源（円）
人材育成・担い手	ふくい林業カレッジ研修事業	14,945,545	14,945,545	将来の福井の林業を担う若い人材を育てるためのふくい林業カレッジの運営	・研修生3名を育成	<p>【事業の成果】</p> <p>県の森林環境譲与税は、林業カレッジや自伐型林業大学の運営、林業事業体への支援など、林業の担い手確保・育成を中心に活用した。</p> <p>令和5年度においては、林業カレッジの研修生3名を含め、年間の新規林業従事者数は、県の目標20名に対し、約1.9倍となる37名が就業した。</p> <p>また、令和5年4月に開校した自伐型林業大学を37名が受講し、山を保全して山村地域を支える貴重な人材を確保・育成した。</p> <p>市町への支援事業としては、効率的な事業化の推進等を図り、より実務的、実績的な課題を解決するため、市町職員を対象とした研修会・相談会を開催し、指導・支援体制の強化を行った。</p> <p>【市町の森林環境譲与税】</p> <p>森林管理を進めるための意向調査や小規模な間伐、林道・作業道の維持管理など地域の実情に応じた森林整備が全市町で実施された。また、一部の市町では、木製玩具の配布、自然観察会等の木材利用・普及啓発を行っている。</p>	
	林業担い手確保・定着事業	2,204,836	1,052,000	1,152,836	新規林業就業者の確保を図るため、林業事業体ガイドブックの改訂や林業カレッジと緑の雇用の1ターン研修生に対する支援を実施		・林業事業体ガイドブックの改訂 ・1ターン研修生2名への支援
	林業従事者安全サポート事業	680,000	680,000		林業労働安全に資する伐木の基礎知識やチェーンソーの操作技能の向上を目的とした講習会を実施		・参加者44名
	林業事業体パワーアップ事業	7,497,000	7,497,000		主伐再造林を推進してため木材搬出作業の効率化や生産量拡大のためのハード整備を支援		・重機のアタッチメントや木材運搬トラックなどの購入支援
	県産材搬出機械化支援事業	15,335,000	15,335,000		高性能林業機械の自保有が可能となる規模の生産量へと拡大を図るため、機械レンタル経費に支援		・林業事業体8社に支援
	ふくいの林業スタートアップ事業（もり人づくり事業）	4,316,763	4,119,763	197,000	林業の普及啓発および技術習得に向けた研修会や体験会を開催		・小中学校や高校生、大学生等への森林林業体験会、DIY講座、特用林産物の現地研修会の開催等
	山の担い手活性化支援事業	11,928,000	11,928,000		自伐林家や特用林産物生産者等が林業に組みやすい環境づくりや自立に向けた活動に必要な経費に支援		・新たに林業活動を始める移住者1名への支援 ・自伐型林業大学校への運営経費支援 ・チェーンソー、安全装具などの購入支援
市町支援	市町森林整備推進支援事業	549,024	549,024		市町職員に対し、効率的な事業化の推進等を図り、より実務的、実績的な課題を解決するため、専門家による研修会・相談会を開催	・研修会2回、相談会6回開催	
	林業DX推進対策事業	18,518,430	18,518,430		航空レーザ計測による森林資源情報や所有者情報等を一元化し、関係者が森林情報の共有・相互利用を図るための森林クラウドシステムを導入	・福井県森林クラウドシステムを運用、保守 ・森林簿、森林計画図のデータ適正化（7市町）	
基金積立		—	—				
合計		75,974,598	74,624,762	1,349,836			